

漫湖水鳥・湿地センター

たよみ

2007年12月15日発行 No.53



観察会 「今年もやってきた渡り鳥!!」

11月4日、講師に原戸鉄二郎先生を招き野鳥観察会を行いました。

朝からどんよりとした空模様で、雨の心配をしながら、観察会が始まりました。天気を気にしていたせいか、センター出発前の説明はかなりスピーディーに終わり、各自配られた双眼鏡・ミニ図鑑と持参の上着を手に出発進行です!!



「今日はどんな鳥たちが見れるかな？」

「クロツラヘラサギは漫湖に来ているかな？」

「雨降りそうだね…」

などの声も聞こえ、観察会を楽しみにしてくれていたんだなと思うと、嬉しくなりました。

干潟に着くと、望遠鏡で探さなくても見ることができる距離にちょこちょこ歩いている鳥の姿が見えました。ムナグロです!参加者たちは霧雨がちらつく中、静かに観察しています。さて、他にはどんな鳥が歓迎してくれるだろうか?と望遠鏡をのぞくと、アオアシシギやアカアシシギ、ダイシャクシギにチュウシャクシギなど、ちらほら見えます。空を見上げると、大きな鳥が見えます!!子どもたちの人気者、ミサゴの登場です!!ミサゴの発見に、「わぁ~!!」と歓声が上がりました。子どもたちの熱い視線を感じたのか、近くで優雅に飛ぶ姿も観察することができました。観察会に参加してくれた、子どもたちの中に、鳥が好きで好きではない!!という子がいて、熱心に見た鳥の名前を、ノートに書いていました。

最後は、原戸先生のおもしろいお話を交えて、観察することができた鳥の確認をセンターのレクチャールームで行いました。ノートに書き込んだ情報を得意気に発表してくれました。

** 双眼鏡をのぞく姿がさまになってきたみなさん **



とよみ大橋の真ん中で、バードウォッチング!!

発表風景



魚はいらんかね~

